

事業名	①しごと情報ひろば事業
事業目的	若年者・中高年齢者・障がい者・ひとり親家庭の親など、働く意欲・希望がありながら、雇用・就労を妨げる様々な阻害要因を抱える「就職に向けた支援が必要な人」を対象として、無料の職業相談・職業紹介施設を運営し、各施設の窓口において求職者の状況に応じたきめの細かな職業相談・職業紹介、カウンセリングなどを行うとともに、各種就労支援機関などとも連携して求職者を就職に結びつけることを目的とする。 特に若年者に対しては就職準備から職場定着まで一貫して切れ目のない支援を行い、女性に対しては子育てと両立できるよう再就職支援を行うなどワンストップの総合相談窓口とする。 また、若者、女性の就業の支援をさらに強化するため、平成28年度からこれまで相談窓口への来所に敷居を高く感じている若者・女性を中心とした事業対象層へのアプローチを図り、地域に出かけるなど支援者の掘り起こしを目的として、本事業を再構築した。
事業内容	<相談窓口業務> ・無料の職業相談・職業紹介施設の運営 【別紙資料参照】 ・その他、支援対象者の状況に応じ、仕事に就くこと・自分に合った仕事を見つけることへの意識づけなどの就職準備支援 など <アウトリーチ型・掘り起こし型相談・コーディネート業務> ・主に施設窓口以外の場所で、支援対象者を掘り起こしていくような事業（大学、各種就職支援イベント等への出張相談、セミナーの開催など） ・「しごと情報ひろばクレオ大阪西・マザーズ（平成29年4月から統合）」における職業紹介に関する求人開拓を実施し、独自の求人情報を開拓、収集 ・大阪市立男女共同参画センター各館（クレオ大阪西を除く。）への出張相談の実施
事業効果 （目標）	・相談件数：23,500件（4か所合計） ・就職件数：2,090件（4か所合計） ・就職者数：500人以上（ハローワークとの一体的運営施設の求人分を除く。） うち支援を受けた若者（15～34歳）、女性（25～54歳）の就職者数：250人以上
実施期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
29 予算額	84,181 千円

進捗状況
(実績等)

【平成 29 年度】(平成 29 年 8 月末時点)

<相談窓口業務>

・相談件数：11,298 件（4 か所合計）（月平均 2,260 件）※28 年度月平均 2,029 件

・就職件数：1,225 件（4 か所合計）（月平均 245 件）※28 年度月平均 174 件

・就職件数（ハローワークとの一体的運営施設の求人分を除く。）：97 件 ※28 年度 199 件（年間）

窓口別の月平均相談件数・就職件数（4 月～8 月） ※四捨五入の関係で合計は合わない。

窓 口	相談件数	就職件数
天下茶屋	911 件	77 件
西 淀 川	560 件	59 件
平 野	630 件	89 件
クレオ西・マザーズ	159 件 (うち女性 111 件)	19 件 (うち女性 14 件)
合 計※	2,260 件	245 件

<アウトリーチ型・掘り起し型相談・コーディネート業務>

・会社求人説明会（若者応援フェアなど）

4 回 参加 114 人

・就職支援セミナー

(ひろば就職ゼミナール、出張面談会、業界研究セミナーなど)

33 回 参加 128 人

・その他セミナー（ワークライフバランスセミナーなど）

2 回 参加 21 人

計（8 月実施分まで）

39 回 参加 263 人

(今後の予定)

・3 週連続就労支援セミナー：9 月 7 日、14 日、21 日（延べ 32 名参加）

・会社・求人説明会（女性活躍応援企業）：9 月 8 日（15 名参加）

・就職活動サポートセミナー：10 月 12 日

・会社・求人説明会（シニアの方対象）：10 月 18 日

・11 月以降も市内の短期大学、専門学校等で会社・求人説明会やセミナーを随時開催

利用者
属性分析

新規登録者人数：計 1,499 名【平成 29 年 4 月～平成 29 年 8 月実績】

(性別、年齢階層別の内訳)

性 別 年齢階層	男 性	女 性	合 計	若者 構成比	28 年度 構成比	増減
20 歳未満	12 名	30 名	42 名	21.8%	19.5%	+2.3%
20 歳以上 35 歳未満	108 名	177 名	285 名			
35 歳以上 55 歳未満	335 名	409 名	744 名			
55 歳以上 65 歳未満	183 名	113 名	296 名			
65 歳以上	80 名	52 名	132 名			
合 計	718 名	781 名	1499 名			
女性構成比		52.1%				
28 年度構成比		48.6%				
増減		+ 3.5%				

○主な傾向

・若者層・女性層ともに増加（前年度比）

・依然として中高年齢者層の利用が多い（全体の 78.2%）が、その中でも高年齢者層（55 歳以上）に限ると 4.9%減少（前年度比）している。

分析・課題	・相談件数については 11,298 件（昨年度 8 月末までで 9,163 件）、就職者数については 1,225 件（同 869 件）といずれも大幅に増加している。 ・昨年 9 月に、しごと情報ひろば「クレオ大阪南」を「平野区役所」に、「クレオ大阪西」のハローワークとの一体的運営機能とともに移転させ、以降「しごと情報ひろば平野」の広報を強化し、運営してきた。その結果、平成 27 年度より西淀川区役所にて同様に開設している「しごと情報ひろば西淀川」の相談件数・就職件数ともに上回る実績となった。（平野：相談件数 3,150 件・就職件数 445 件／西淀川：相談件数 2,799 件・就職件数 296 件） ・平成 28 年度から相談窓口への来所に敷居が高く感じている若者・女性を中心とした対象層へのアプローチを図るため、地域に出かける相談など、支援対象者掘り起こしに取り組んできた結果、若年者や女性の新規登録者数は増加した。 ・利用者の満足度を把握するため、利用者アンケート（今年度 2 回）を実施している。その結果は、「満足（75.8）」「どちらかといえば満足（23.9）」と高かった。 ・市内居住者の本事業に対する認知度（平成 28 年度市政モニター 28%）はまだまだ低く、それを高めるための取組み（29 年度目標 33%以上）をさらに強化する必要がある。
今後の方向性	・相談件数・就職件数については、今後の雇用情勢に左右されるが、各ひろば施設の広報を強化しつつ、引き続き総合相談事業として展開を図る。 ・特に本市単独で運営している「クレオ大阪西・マザーズ」については、独自の求人情報の開拓や強みを活かしつつ、さらに効果を上げていく。 ・アウトリーチ事業は精力的に行ってきたが、結果としてまだまだ若年層のしごと情報ひろばの利用へとはつながっていないことから、相談やイベントのあり方を参加しやすいものに工夫し、大学などと連携した取組みや、若者の集まる場所での相談などを行うとともに、SNS など様々なツールを活用した情報発信を行う。 ・アンケート結果に基づいて、相談者のニーズを把握し、改善することで満足度の質的向上（「どちらかといえば満足」から「満足」への割合のアップ）を図っていく。 ・本事業の内容が的確に伝わるよう、わかりやすく親しみやすい印刷物（ポスター・チラシ）を作成して事業広報に取り組んでいく。